

新人選手紹介

- ・名前
- ・担当者から一言

- ・平井亜紀(右)
- ・長身から繰り出される角度あるショットに注目してください。



- ・亀田楓(左)
- ・細かな動きで相手を翻弄するショットに注目してください。



- ・浅井 悠由
- ・期待の“超大型新人”。172 cmの長身を生かして勝利を呼込むプレーに注目してください！！



- ・大瀬良大地選手
- ・普段はおっとりしたやさしい好青年。しかし、マウンドに立つと表情が一変。たのしい姿をみせてくれます。



日本リーグ開幕、2連勝を飾る

高円宮杯 2014 女子ホッケー日本リーグが開幕。第1節が4月19日・20日と天理市親里ホッケー場にて開催された。第1日目は天理大学ベアーズとの対戦。CCW レッドスパークスのセンターパスで開始された。立ち上がりから落ち着いてパスをつなぎ、相手ゴールに攻め込んだ。開始2分、右からエンドラインにそってドリブルで回り込んだ西村が逆サイドから飛び込んできた金藤に合わせ、タッチシュートが決まり、今年1点目が決まった。いいリズムを保ちながら試合が進む。8分には今年の新入部員である浅井と笠原がデビューした。着実にゴールを増やす中、浅井がペナルティーコーナーからヒットシュートを決め、デビュー戦初ゴールを飾った。前半はテンポよくボールがつながり、5得点を挙げ折り返した。後半に入り、相手にチャンスを与えることなく、試合が進む。23分には川端がドリブルで一気にかけるが、ディフェンスの間を通す絶妙なパスを笠原に送り、笠原はヒットシュートを放ち、デビュー戦で初得点を決めた。



新加入の選手も活躍し、金藤が3得点を挙げるなど存在感を放ちながら、8-0で試合終了第2日目、南都銀行 SHOOTING STARS との対戦。お互いに試合開始早々から激しい攻撃でゆさぶりをかける。21分、川端のセンタリングを西村がタッチシュートを決め先制する。これで勢いにのり、相手陣内で攻撃を進める。しかし、両チームとも得点はなく1-0のリードで前半折り返した。後半、一進一退の攻防が続く。なかなか得点を出来ない中、相手がペナルティーコーナーを獲得、しかし相手のシュートは吉川の好セーブによって防いだ。その後も得点のないまま試合終了。CCW レッドスパークスは、開幕2連勝をあげた。日本リーグは2回の総当たりによって勝ち点の多いチームが優勝となるため、10月までに及ぶ長期戦となる。好スタートを切ったCCW レッドスパークスには、活躍を期待している。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆



中国電力陸上競技部
石川卓哉 選手

生年月日 1989年10月29日
身長 173cm
血液型 AB型
出身地 山口県

担当者からのコメント

トラック競技では中国電力チームで一番！2013年シーズンに怪我で成績低迷したことを挽回するためにも、2014年シーズンに懸ける想いは強い。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



トップスニュース

Vol.61
2014年4月25日

**加盟
団体**



サンフレッチェ広島



JTサンダーズ



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部



コカ・コーラウエスト
レッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

TEL:082-233-3233

FAX:082-233-3251

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



広島東洋カープ

2014 年公式戦地元開幕戦！

地元開幕戦となった4月1日(火)対ヤクルト戦にて、開幕イベントが行われた。

各入場ゲートでは10,000名に「カープラッピング中国新聞」が配布され、あっという間になくなった。試合開始前に行われたオープニングセレモニーでは、地元開幕戦限定のオープニング映像からスタート。映像放映後に広島交響楽団によるファンファーレが演奏され、両チームの監督・コーチ・選手がホームランガールの先導で入場した。国歌斉唱には「ベイビー・アイラブユー」で大ヒットを記録した広島出身のシンガーソングライター、TEEさんが務め、スタジアム全体に独特の素晴らしい歌声を響かせた。

また、「2014年度フラワークイーン」による両チーム監督、主審へ花束の贈呈が行われた。始球式には松井一実広島市長が登場し、地元開幕戦にふさわしい豪華なイベントとなった。試合も丸選手の初回先頭打者ホームランや野村選手の力投などで見事勝利。

今シーズンの期待が大きく膨らむ地元開幕戦だった。

また、16日の試合では、大瀬良大地投手(22)が、待望のプロ初勝利を挙げた。本拠地広島のお立ち台で「ぶち、最高です」と、広島弁で喜びを表し、初星で単独首位を守った。



広島ガス
バドミントン部

羽ばたけ未来のアスリート

未来のアスリート育成のために、平成26年4月15日(火)にグリーンアリーナ(サブ)にて、広島県バドミントン協会強化委員会主催の国体強化練習が行われた。この強化練習は今年に入ってから第1回目、小中高生を対象としたものである。この日は、高校生男女16名、中学生男女17名、小学生男女8名の、合計41名の子どもたちが参加した。強化練習はストロークの練習、各種ショット練習などのバドミントンで大切な基礎力を高める練習や、シングルスやダブルスなどの試合形式でのゲーム練習などを行った。国体強化練習は、発達途上にあり未知数な力を秘めた小中高生にとって、大いに実力を伸ばす良い機会になったであろう。参加者は、基礎的な練習やゲーム練習を通して充実した1日を送っていた。平成26年5月13日に、第2回目の国体強化練習があり、学んだものを次回の練習にしっかりと活かし、彼らの今後の益々の成長と活躍に期待したい。

激戦のファイナルラウンド！ 惜しくも準優勝に

4月13日（日）東京体育館にて行われた14V・プレミアムリーグ。初優勝をかけた戦いに緊張感で張り詰めた雰囲気の中、パナソニックパンサーズに挑んだ。

やはり選手の緊張感はプレーに現れ、試合開始直後の第1セット、JTサンダーズは立ち上がりで出遅れた。連続失点にリードを許してしまう。

しかし持ち前のサーブで第二セットを25-13と圧倒的な点数をつけて取り返し流れをこちらにひきこみ、全く試合結果がどうなるかわからないゲームメイクだった。

そして迎えた運命の第5セット。相手に必死で食らいつき積極的な攻撃をみせるものの9-15という点数でゲームセットとなり、準決勝という結果に終わった。

フルセットという激闘に末の準決勝という悔しさが選手、ファン、多くの人の胸に残った。しかしながらこのシーズンで無限大の可能性を見せてくれた。まだまだ成長するチームに来年の優勝への期待は熱い。

そして試合の熱は覚めやらぬ4月17日（木）、新加入された越川優選手が「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」で行われた広島東洋カープ対阪神タイガースのプロ野球公式戦始球式に登場。たくさんの観客が見守る中、越川選手は球速95キロのストレートボールで見事、ストライク。ナイスピッチングを披露。大役を終えほっとした面持ちでマウンドを去るまで越川選手に大歓声はやみませんでした。



トラックシーズンイン！

4月5日（土）の金栗記念選抜陸上（熊本県）から19日（土）中国実業団陸上（呉市）、19日（土）、20日（日）兵庫リレーカーニバル（兵庫県）と各選手がトラックシーズンの初戦を迎えた。上位入賞と自己記録更新をする選手はいなかったものの、まずまずの走り、駅伝やマラソンのロードシーズンからの移行は順調のようだ。中でも昨年、貧血、アキレス腱痛で苦しんだ石川卓哉選手が復調の兆しをみせた。金栗記念選抜大会へ出場し、強風荒れる中、積極的に先頭へ出てレースを作った。結果は組3着の13分56秒93で昨年の成績をあっさりと上回った。昨年の不振から今年に駆ける想いは強く、練習へ意欲的に取り組んでいる。チームでは岡本直己選手に継ぐエースであり、石川卓哉選手の復調でチームを盛り立てたいところだ。シーズンはまだ始まったばかりで、これから大会が続く、良いスタートは切れたので、どの選手にも期待は高まる。



（兵庫リレーGP 10000m
岡本選手）

3/26～4/25 トップス広島 試合結果

広島東洋カープ

4/1 カープ ○ 3-2 ● ヤクルト
4/2 カープ ○ 6-1 ● ヤクルト
4/3 カープ ● 0-6 ○ ヤクルト
4/4 カープ ○ 2-1 ● DeNA
4/5 カープ ● 6-9 ○ DeNA
4/6 カープ ○ 1-0 ● DeNA
4/11 カープ ○ 4-3 ● 中日
4/12 カープ ○ 5-0 ● 中日
4/13 カープ（中止） 中日
4/15 カープ ● 2-8 ○ 阪神
4/16 カープ ○ 3-1 ● 阪神
4/17 カープ ○ 8-2 ● 阪神
4/25 カープ ○ 7-3 ● 巨人

NTT 西日本広島ソフトテニスクラブ

4/20 広島県ソフトテニス選手権大会

<男子>堀・原ペア 優勝

舘越・山崎ペア 3位

<女子>中野・小林ペア 優勝

水間・榎本ペア 準優勝

佐々木・半谷ペア 3位

三好・黒木ペア ベスト8

富田・大庭ペア ベスト8

サンフレッチェ広島

▽リーグ戦

3/29 サンフレ ○ 3-1 ● 徳島ヴォルティス

4/12 サンフレ ○ 1-0 ● FC東京

▽AFCチャンピオンズリーグ

4/23 サンフレ ○ 1-0 ● セントラルコースト・マリナーズ

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

今季初の首位！これぞサンフレの強さ！

4月12日(土)エディオンスタジアム広島で行われた、対FC東京戦。去年の8月、ホームで2-1と敗れた悔しさをバネに、選手たちも「ホームで勝ってサポーターやファンに勝ち点をプレゼントしたい。」と気合が入る。FC東京がサンフレ対策をしっかりとっており、守備は堅い上に崩すことが難しく、サンフレの選手たちの動きにもぶかったこともあり、苦戦していた。ハーフタイム、苦戦している選手たちを前に森保監督は「相手よりも闘って走って勝つぞ！」と力強い言葉で選手たちを送り出した。

0-0で迎えた後半35分、高萩洋次郎選手の左コーナーキックから、千葉和彦選手が頭で合わせてゴール。これが決勝点となり1-0の完封勝利で見事、サポーターやファンに勝ち点3をプレゼントすることができた。ACLのFCソウル戦の後、長かった髪の毛をばっさり切った千葉選手は「ボールの軌道がよく見えたんで（ゴールが）入ったと思います。髪を切って良かったです！」と満面の笑みで語り、サポーターやファンをわかせた。試合終了後のインタビューで森保監督は「チームが厳しい状況の中、我慢強く戦えたのはサポーターやファンの声援があつてこそ。サポーターやファンには本当に感謝している。」と語った。この勝利は、選手とサポーターが共に戦って得た勝利だ。サンフレは強くなった。他チームから厳しいマークを受けても、選手はぶれることなく三連覇に向かって、力強く邁進していくだろう。



男女、アベック優勝！！

平成26年4月20日(日)に、広島市中央庭球場で「第67回広島県ソフトテニス選手権大会(県知事杯)」が開催された。男子は57ペアエントリーであったが、NTT男子からは、ナショナルチームの合宿と重なった為、2ペアのみの出場となった。優勝は、今期からペアを組んだ、堀・原ペアで初優勝。(堀は2度目) 館越・岩崎ペアは、3位であった。女子は、18ペアエントリーし、上位独占という結果であった。優勝は、中野・小林ペアで2年連続、準優勝は、水間・榎本ペア、第3位は、佐々木・半谷ペア、三好・黒木ペア、富田・大庭ペアはベスト8であった。次回、4月26・27日に行われるアジア競技大会日本代表選手予選会での活躍に期待したい。

4月5日(土)、6日(日)に、東京都代々木第一体育館で「第59回全日本女子選抜ソフトテニス大会」が開催された。ダブルス40ペア、シングルス12名が出場した。ダブルスでは、準決勝で佐々木・水間ペアが、今回優勝した森田・山下ペアと戦い、3-5で惜しくも準決勝敗退で、第3位という結果であった。富田・半谷ペアは予選リーグ敗退であった。シングルスは、初出場の大庭彩加が4-2でダンロップの原野に打ち勝ち、初優勝を飾った。



(堀 晃大選手)

中山新監督・ 杉山新コーチで新体制へ

昨シーズンはオフシーズンへ進出、4位と健闘をみせた湧永製菓。今シーズンからは中山剛新監督のもと、杉山新コーチも迎え新体制でのシーズンがスタートする。中山監督は2度目の湧永レオリック監督となる。そんな今シーズンも湧永レオリックの活躍に期待したい。写真左が中山新監督。



新加入選手発表！

4月23日メイプルレッズは新加入選手激励会を行った。リーグ2位と健闘した昨シーズン、今シーズンも更なる期待がかかる。4月29日には湧永レオリックと共に、ファン感謝デーを開催する。場所は東区スポーツセンターで、9時から小学生を対象としたハンドボール教室が行われた後、13時よりイベントが始まる。迫力のある試合を生で見ることができる機会だ。来シーズンへの応援の気持ちを込めて、選手たちを応援しよう！

